



2学期終業式校長講話 自分を認める

今日は終業式です。2学期が終わる節目の日。1年を振り返る節目とも重なるこの時期、これまでの自分のがんばりや成長を振り返るよい機会です。今ほど、各学年の代表と生徒会の代表の生徒がすばらしいスピーチをしてくださいました。今までの自分のがんばりを認め、これからの目標と決意が表れたいい振り返りでした。みなさんもぜひ、今までがんばったことやこれからやってみたいことを言葉にしてみてください。

地域の方々から「下山中学校の生徒はすばらしい」と連絡をいただくことがあります。先日のあいさつ運動では、寒い中でも笑顔で元気にあいさつをしてくれて、その声や姿が「嫌な気持ちを吹き飛ばしてくれた」とお電話をくださった方がいました。また、小学生が転んでけがをしてしまったとき、通りがかった中学生が優しく声をかけ、ばんそうこうを貼ってくれたというお話もありました。その小学生は玄関に駆け込むようにやってきて、その場にいた先生にうれしそうに話してくれたそうです。どちらのエピソードもその中学生がだれだったかはわからないけれど、中学生の行動で二人が幸せな気持ちになったのは間違いありません。

幸せについて研究している大学教授のお話を聞く機会がありました。幸せ度が高い人の特徴を4つにまとめていました。それは、感謝すること。主体的にやってみること。自分を認めること。前向きであること。

みなさんには、この節目の時期に、ぜひ「自分を認めること」を特に意識してほしいです。他人に目を向けすぎると、自分の時間やエネルギーが奪われてしまいます。大切な自分の時間やエネルギーは自分の成長や目標に向けましょう。他人を変えることは難しいですが、自分を変えることは自分でできます。他の誰かと比べる必要はありません。自分が自分なりに努力したことを「私はがんばった、よくやっている」と、できれば声に出して自分を褒めてください。小さなこと、当たり前のことと思うことでいいのです。感謝することと、自分のよいところや成長を振り返る習慣をもつと、日々の中にたくさんの幸せを見つけられるようになるそうです。

冬休みが始まります。みなさんが元気に、楽しい休みを過ごしてくれることを願っています。また新学期に、笑顔で会えるのを楽しみにしています。

家族でやってほしい幸せワーク

- ① 2025年にやってみたいと思うことを30個書く。楽しくてわくわくすることをいっぱい考えよう。
- ② 感謝している人・もの・ことを30個書く。家族、友達、ペット、品物、自然など何でもよい。
- ③ 自分のいいところ・得意なことを10個書く。または自分の嫌なところ・苦手なことを書いて反転させる。
例えば、うるさい→元気がいい、心配性→思慮深い、など。



「イヤホン難聴が増えてます！」第3回学校運営協議会（11月21日）



3回目の学校運営委員会は、小中合同で子どもの体力・健康状態について、学校医、学校薬剤師、下山地区担当保健師の皆様から専門的な見地からご意見をいただきました。ご指摘内容は、学校保健にとって有意義な内容でした。



その中でも、「イヤホン」の不適切な使用による「難聴」の増加、長時間の使用への警鐘が印象に残りました。後半は、小中学校の職員も交えて、体力・健康問題や小中共同取り組みについて、熱心に話し合いが行われました。

「体育館がライブ会場に！」1学年 福祉講演・演奏会開催（12月2日）



1年生を対象に、長野県社会福祉協議会 川崎昭仁 さんをお招きして福祉を学ぶ機会を設定しました。講師の川崎さんは、手足に麻痺がありながらも独自のギター奏法を編み出した方です。川崎さんからは小学校の時に障がいのある



自分でできる清掃を同級生と一緒に考えてくれたことで「学級が一つになったようでうれしかった」「高校の時、両腕がない人が足でギターを弾く姿にひかれたことでギターを始めた」などのお話をいただきました。また、生徒を集めて演奏いただき、体育館はライブ会場のような感じでした。12月17日の新潟日報で紹介されました。

後輩へのバトンタッチ 生徒会立会演説会（12月2日）

令和7年度の新生徒会本部役員候補による立会演説会と投票が実施されました。選挙管理委員会と2学年部が中心となり、準備を進めてきました。当日は、来年度の生徒会像を明確に述べ、生徒会会員に一生懸命訴える姿が印象的でした。部活動に続き、生徒会でも3年生から2年生へのバトンタッチが進められています。生徒会の活躍が光ることを期待します。



下山中学校区に、あいさつが響きました！！（12月10日、11日）

下山中学校区であいさつ運動が行われました。下山地区コミュニティ協議会、下山地区育成協議会、下山中学校PTAから、ご支援いただき制作しましたのぼり旗をもって、あいさつを行いました。地域の方からは「元気をもらった」というありがたいお電話をいただき、生徒も励みとなりました。あいさつ運動期間中にお声かけやご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。今後とも明るくあいさつが響く下山中学校区となるように頑張ります！！



「地域とともに」留学生・大学生との交流会（12月12日）



生徒会から、大学生や留学生に将来の進路や他国のことを直接聞きたいとの要望があり、PTAと学校運営協議会が支援する形で、交流会が実施されました。当日は近隣2大学から大学生11名、米山記念奨学委員会から留学生4名をお招きし、自主的に参加した約50名の生徒と交流会を開きました。大学生からは、日々の大学生活や将来の夢、「なんでもやってみることが大事！」などの座右の銘を語っていただきました。留学生からは、母国の様子や日本に来て驚いたこと、「なぜ日本に留学したのか」など、母国語を混ぜながら、流ちょうな日本語で語っていただきました。また、近い年代ということもあり、苦手教科の勉強法や悩みごと相談にも応じていただきました。

自分の進路や夢、多文化について、貴重な時間を過ごすことができました。令和8年に向けて、生徒のスポーツ、文化芸術活動を地域とともに保障することが各中学校に求められています。今回のように、生徒の考えや思いを生徒自身で実現できるように、教職員、PTA、学校運営委員会、地域の方々に支援していきます。

（ 下 山 中 学 校 活 躍 の 軌 跡 ）

第57回 受信環境クリーン図案コンクール

・佳作 1年 稲垣 寧

第55回 新潟県ジュニア美術展覧会

・奨励賞 2年 小林 風花

令和6年度 新潟県中学生人権作文コンテスト

・新潟人権擁護委員協議会優秀賞 3年 奥崎 香澄

令和6年度 わたしの主張 新潟市大会

・奨励賞 2年 佐藤 純蓮

令和6年度 明るい選挙啓発ポスター

・優秀賞 2年 円井 寿珠

令和6年度 税の作文

・新潟市長賞 3年 渡邊 陸 ・新潟法人会長賞 3年 奥崎 香澄



令和6年 一年間お世話になりました。



お忙しい中、保護者面談（10日～13日）にご来校いただき、ありがとうございました。短い時間でしたが、生徒の成長について、保護者の皆さまとお話できるよい機会でした。さて、2025年の干支は「乙巳（きのとみ）」です。「巳」はへびのイメージから「再生と変化」，「乙」は「しなやかに伸びる」という意味があります。そのため「乙巳」は努力を重ね、物事を安定させていくイメージです。来年は、生徒や下山中学校がこのイメージのような1年となるように願っております。今年一年お世話になりました。来年も、下山中学校へのご理解とご支援を お願い

（人間関係改善週間で創作した思いやりの心） いたします。